

問題1 Aは、自己の所有する骨董品（以下「甲」という。）をBに賃貸していたが、BはAに無断で甲をCに寄託した。その後、Bから甲について話を聞いたDがBに対して甲を売ってくれるように申し出たため、BはAに無断で甲をDに売却し、Cに対し以後Dのために甲を占有するように命じた。この際、Dは、甲がBの所有物であると過失なく信じており、Cによる甲の占有を承諾した。この場合、Aは、Dに対し、甲の返還を求めることができるか。民法の条文および判例に照らし、甲の占有移転の方法について言及しつつ、40 字程度で記述しなさい。

（下書用）

10

15
